

(上)「ダイヤモンドクラウン」は商標登録済み
(下)朝礼で経営理念を唱和する

『日本一』という言葉をなかなか口にできませんでした。でも、ある勉強会で宣言したら、気持ちがすつきりしたんです」

日本一を目指すためフォーカスを当たたのが、とりも直さず社員満足度だった。木村社長は歯科技工所勤務時代、過酷な労働環境を体験していた。入社後まもなく会社に泊まり込むのが当たり前になり、同期入社した社員はゴールデンウイーク前に次々と退職していった。残業時間が200時間を超える月もあった。24歳のとき、中央歯科補綴研究所を開業。経営するよりも、技術が必要とされる理

由や背景、影響を丁寧に説明するよう改めてからだ。あわせて労働環境の改善に努め、人事評価制度改革も実施。社員は各自で目標を設定し、月に1回行うリーダーとの面談を通してアドバイスを受ける。外部研修に積極的に派遣しているのも、成長を実感できるよう支援するため。社内にはグループ学習できるセミナールームも設けた。

「日本一」という言葉をなかなか口にできませんでした。でも、ある勉強会で宣言したら、気持ちがすつきりしたんです」

日本一を目指すためフォーカスを当たたのが、とりも直さず社員満足度だった。木村社長は歯科技工所勤務時代、過酷な労働環境を体験していた。入社後まもなく会社に泊まり込むのが当たり前になり、同期入社した社員はゴールデンウイーク前に次々と退職していった。残業時間が200時間を超える月もあった。24歳のとき、中央歯科補綴研究所を開業。経営するよりも、技術が必要とされる理

由や背景、影響を丁寧に説明するよう改めてからだ。あわせて労働環境の改善に努め、人事評価制度改革も実施。社員は各自で目標を

設定し、月に1回行うリーダーとの面談を通してアドバイスを受ける。外部研修に積極的に派遣しているのも、成長を実感できるよう支援するため。社内にはグループ学習できるセミナールームも設けた。

「日本一を目指すためフォーカスを当たたのが、とりも直さず社員満足度だった。木村社長は歯科技工所勤務時代、過酷な労働環境を体験していた。入社後まもなく会社に泊まり込むのが当たり前になり、同期入社した社員はゴールデンウイーク前に次々と退職していった。残業時間が200時間を超える月もあった。24歳のとき、中央歯科補綴研究所を開業。経営するよりも、技術が必要とされる理

由や背景、影響を丁寧に説明するよう改めてからだ。あわせて労働環境の改善に努め、人事評価制度改革も実施。社員は各自で目標を設定し、月に1回行うリーダーとの面談を通してアドバイスを受ける。外部研修に積極的に派遣しているのも、成長を実感できるよう支援するため。社内にはグループ学習できるセミナールームも設けた。

「日本一を目指すためフォーカスを当たたのが、とりも直さず社員満足度だった。木村社長は歯科技工所勤務時代、過酷な労働環境を体験していた。入社後まもなく会社に泊まり込むのが当たり前になり、同期入社した社員はゴールデンウイーク前に次々と退職していった。残業時間が200時間を超える月もあった。24歳のとき、中央歯科補綴研究所を開業。経営するよりも、技術が必要とされる理

由や背景、影響を丁寧に説明するよう改めてからだ。あわせて労働環境の改善に努め、人事評価制度改革も実施。社員は各自で目標を

設定し、月に1回行うリーダーとの面談を通してアドバイスを受ける。外部研修に積極的に派遣しているのも、成長を実感できるよう支援するため。社内にはグループ学習できるセミナールームも設けた。

「日本一を目指すためフォーカスを当たたのが、とりも直さず社員満足度だった。木村社長は歯科技工所勤務時代、過酷な労働環境を体験していた。入社後まもなく会社に泊まり込むのが当たり前になり、同期入社した社員はゴールデンウイーク前に次々と退職していった。残業時間が200時間を超える月もあった。24歳のとき、中央歯科補綴研究所を開業。経営するよりも、技術が必要とされる理

由や背景、影響を丁寧に説明するよう改めてからだ。あわせて労働環境の改善に努め、人事評価制度改革も実施。社員は各自で目標を設定し、月に1回行うリーダーとの面談を通してアドバイスを受ける。外部研修に積極的に派遣しているのも、成長を実感できるよう支援するため。社内にはグループ学習できるセミナールームも設けた。

る。本年度の開催で、第4期を迎えた。

「経営者が6ヶ月間、月に一度集まり、事例を持ち寄って議論しています。勉強会で学んだことを効果的にフィードバックするには、経営幹部の方と一緒に参加していただくのがおすすめです」

アコロエストとは「先端を探究する」という意味。数々の受賞歴は、まさに最先端に挑んできた道のりが評価された結果にほかならない。

（本誌・小林淳二）

CASE ◎中央歯科補綴研究所

「日本一」に挑む歯のスペシャリスト集団



木村正社長

近年注目度を増している企業大賞のひとつに「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞がある。

人を大切にする経営学会の主催する賞で、発起人代表は坂本光司法政大学大学院教授。書籍『日本でいちばん大切にしたい会社』シリーズの著者としても知られている。応募資格は①希望退職者の募集などリストラをしていないこと②仕入れ先などに一方的なコストダウン要求をしていないこと③

重大な労働災害等を発生させていないこと④障害者雇用が法定雇用率以上であること⑤営業黒字である。

新免副社長は「組織いきいき実践勉強会」を主催し、職場を活性化する取り組みを詳しく紹介していく。



経営のヒントを得られる「組織いきいき実践勉強会」を開催

「受賞により、歯科大学に通う学生から社内見学の問い合わせをいたしたり、業界新聞で取り上げられたり、当社への関心の高まりを実感しています。社員が誇りを持って仕事を打ち込める環境を整備し、目標とされる会社づくりを取り組んでいます」

COMPANY DATA

株式会社中央歯科補綴研究所

設立 1989年9月
所在地 東京都目黒区大岡山1-35-22 ニッカンビル2F
売上高 2億4000万円(2017年6月期)
社員数 34名(パート含む)
URL http://www.chuo4618.com/